



**eKクロススペース**

注目トールK徹底比較!



**在宅** テレワーク中の  
息抜きに  
**CARメンテ入門**

**6**

カーライフは  
毎月20日発売

dマガジン限定特典!  
ニューカー速報プラス  
トヨタ・グランエース

★楽しい車の雑誌

# CARトピ



ダイハツ **タフト**

Cover Girl  
石田桃香



次期  
日産 **エクストレイル**  
人気最強



新型トヨタ **ハリアー**

# SUV 総力特集

新春筑波アタック

ホンダ・フィット

トヨタ・GRスープラ

新車体力測定!

メルセデス-AMG GT R



WEB CARTOP  
http://www.webcartop.jp

# 壊れたパーツが「ほぼ新品」に!?

そのクルマ、諦めなうぜー!



# パーツ再生の流儀

「リビルトパーツ」という単語を聞いたことはあるだろうか? 愛車が故障などしたときによく用いられるこのパーツは、中古品をベースに新品部品などを用いて新品同様に再生された究極のリサイクルパーツなのだ

そもそもリビルトってなだ?!

ただ直すだけじゃない! 深いリビルトパーツの世界

リビルトパーツは安価な中古品というイメージがあるかも知れないが、それは大きな間違いだ。大手のリビルトパーツメーカーが生産する製品は品質管理が徹底され、価格は新品の約半額ながら8割以上の性能を再現。製品保証もあるのが正規ディーラーでも取り扱われるなど、絶大な信頼と実績を積み重ねている。

クルマの主要パーツがユニット化されたことで生産は効率化。整備の現場でもアッセンブリー交換作業が中心とな

り、リビルトパーツの需要も高まった。無駄のないリビルトパーツは資源の有効活用面でも社会的に有意義であり、自動車文化の成熟した欧米では「リビルトパーツは賢いユーザーが選ぶもの」とのイメージが定着。知的でクールな選択として認識されている。

今回、国内大手メーカーのアーネストでリビルトパーツの生産現場を見学し、品質管理への強いこだわりに感動した。自分の愛車にこれまでに以上にリビルトパーツを積極的に選びたくなったので、その模様を紹介しよう。



# 大追跡! リビルトパーツ誕生までの舞台裏

選別からスタート!

**STEP**

まずは、整備工場や解体業者などから仕入れた寿命の尽きたパーツを選別。これが「コア」と呼ばれるものだ。圧倒的に多いのはオルタネーターとスターターモーターなどのエンジンの補器類で、軽自動車からやタクシーまで、すべての国産車を幅広く取り扱う。

**STEP**

選別されたパーツは完全に分解され、アルカリの洗浄剤で徹底的に洗浄。必要に応じて砂状のメディアと呼ばれるものを噴射して磨くサンドブラストやパフ掛け作業を実施し、使用可能な部品と使用不可の部品に分別。金属パーツにクラックなどが入っていないかどうか入念にチェックされ、洗浄済みのパーツは、新品同様の輝きを放っていた。

**STEP**

交換や調整が済むと中間的な性能テストが行なわれ、通過後は塗装やコーティング、防錆処理を実施。組み付け完了後は性能や機能の最終検査が行なわれ、性能や品質を保証するテスト合格証明書を添付して梱包される。

**STEP**

▲基準値の出力の確認をして完成。数値データが見られるQRコードを貼り付けて出荷される

出荷準備完了!

メーカーが違ってもグローバル化により同じパーツサプライヤーである場合が多く、カプラーや出力などの違いはあれど基本的な構造はおおむね同じだという。スバルの軽自動車・ヴィヴィオなど年式の古いクルマ用のパーツも多数見かけられ、旧車好きとしても嬉しい限りだった。

現場は自動車の生産工場のような雰囲気ながらライン工程ではなく、種類ごとにひとりの工員が作業を担当する。若い人が活躍中だった。

工場の工員数は約80名。リビルトパーツ生産は自動車インフラを支える産業なので、健康管理に万全を期しながら勤務を継続している。

知ってた? リビルトパーツが使える部位を大紹介!



**コアが大量入荷!**

▲不要になったクルマから取りはずされたコアがコンテナに大量に保管される

▲注文書を元に作業を行なうパーツを分別。このときに大きな破損がないかなど同時に確認

▲メーカーごとに仕分け

**バラバラに分解**

▲仕分けが終わったパーツを出してまずは分解する。このときに修理箇所を徹底的にチェック

▲分解が終わるとオイルまみれの外装を徹底的に洗浄。研磨すると新品同様の輝きが蘇る

▲徹底洗浄!

**女性も大活躍**

▲分解と洗浄が終わったらいよいよ組み立て。メーカーの図面を元に新品パーツで組み立てる

▲組み立てが完了したら、清掃時などに残ったバリなどを取って数値チェックに回して完成だ

▲最終仕上げ

**その1 オルタネーター**

保証期間 2年または4万km  
交換部品 ベアリング、ブラシ、オイルシールなど  
・新品5万円~  
・リビルト2万5000円~

**その2 ドライブシャフト**

保証期間 2年または2万km (パーツは5000km)  
交換部品 アウタージョイント、ボール、ブーツなど  
・新品2万円~  
・リビルト9000円~

**その3 セルモーター**

保証期間 2年または4万km  
交換部品 ブラシ、ソレノイドスイッチなど  
・新品3万円~  
・リビルト1万5000円~

他にもあるぞ! リビルトパーツ

| パーツ          | 保証期間                    | 交換部品             |
|--------------|-------------------------|------------------|
| フェューエルポンプ    | 1年または1万km               | ポンプモーター、パッキン類など  |
| ディストリビューター   | 2年または4万km               | デスピキャップ、コイルなど    |
| パワーステアリングポンプ | 2年または2万km               | ローター、ベアリングなど     |
| 電装ステアリング     | 1年または1万km               | コンデンサー、レジスターなど   |
| ターボチャージャー    | 1年または1万km               | センターシャフト、ベアリングなど |
| ラジエター&コンデンサー | ラジエター18カ月<br>コンデンサー12カ月 | コア               |

**その4 スロットル**

保証期間 1年または1万km  
交換部品 コントロールユニット、ポジションセンサーなど  
・新品2万5000円~  
・リビルト1万3000円~

**その5 エアコンコンプレッサー**

保証期間 2年または4万km  
交換部品 ベアリング、オーバーホールキットなど  
・新品10万円~  
・リビルト5万円~

※価格は税込。保証期間はアーネストの場合

今回の取材先 **アーネスト**

この会社ではメーカーや整備工場向けのリビルトパーツの販売を主力としている。国内外の多種多様なリビルトパーツや業界初のハイブリッドバッテリーのリビルト品も扱う。完成後に測定した数値データを明記したり保証付きなのも嬉しい。組み立てられたパーツは日本全国の自動車関係の工場へ旅立つ。

◎アーネスト 埼玉県 吉川市 会野谷1丁目173-1  
☎048・984・3818 <http://www.rap-honest.co.jp/>

リサイクルパーツ早見表

| リサイクルパーツ | 部品の原型を最大限に止めたまま再利用される部品のことで品質の確認をしてから商品化されるもの                                |
|----------|--|
| ①リユース部品  | 不要になったクルマからパーツをはずして、目視やテスターでチェック後に清掃をして商品化されたもの                              |
| ②リビルト部品  | 不要になったクルマからははずしたパーツを分解、清掃をしてテスターでチェック後に商品化されたもの。リユース部品との最大の違いは「保証」が付いているという点 |
| ③解体部品    | テスターなどで検査せずに、現状のまま再使用される部品   |

出展: 経済産業省

# 必見!! ハイブリッドバッテリーが半額で買えるワケ!!

仕組みは簡単でも公開NG  
業界唯一のバッテリー工場

リビルトパーツ市場の需要は新車市場での動向とタイムラグがあるものの、最近になってハイブリッドカーのリビルト品も需要が徐々に増加している。とくに駆動用のニッケル水素バッテリーは10年程度で劣化が顕著となるケースが多く、しかも新品は高額なので注目が高まっている。ただし、放充電の性能を新品の8割まで再生するには特



▲これがハイブリッドバッテリーの中身。電池本体の電力を測定して使える物と使えない物を分別

殊な技術を要するため、現状ではリビルトパーツを生産しているのは業界でもアーネストのみだという。

ハイブリッドカー用バッテリー需要の高まりを予測していたアーネストでは、国内工場の一角にハイブリッドバッテリー再生作業用の専用ブースを設置。室温などの条件が徹底管理されたなかで特別な訓練と教育を受けた低圧電気取り扱い業務の有資格者が作業している。詳細は企業秘密ということで内部は見学できなかったが、ごく簡単に再生する方法を尋ねてみた。たとえばトヨタのプリウス(2〜3代目)やアクア、カローラ



▲これがハイブリッドバッテリーの完成形。小さい電池を組み合わせると一つのバッテリーにする

【お詫びと訂正】  
リビルトバッテリーの価格表示に誤りがありました。希望小売価格の設定はございません。オープン価格となります。また、弊社は業販専門です。一般ユーザー様、整備工場様への直接販売は行っておりません。

再生可能なバッテリーたち

| メーカー | 車種                     | 純正価格          | リビルトバッテリー |
|------|------------------------|---------------|-----------|
| トヨタ  | プリウス (NHW20.30)        | 14万1000円 (税込) | オープン価格    |
|      | プリウスα                  |               |           |
|      | アクア                    | 12万3000円~     |           |
|      | ヴィッツ                   | 12万8000円 (税込) |           |
|      | カローラフィールダー<br>カローラアクシオ |               |           |
| レクサス | CT200h                 |               |           |

最重要機密の部屋を発見!?  
この部屋のなかには劣化したハイブリッドバッテリーを生き返らせる公開どころか立ち入りすらもNGな超重要な場所とのこと。そして、部屋で作業する人は電気関係の免許を所有していないと作業はできないそうで、入口には免許のコピーも掲示される。中を見ることができれば来るのだろうか……。



▲ハイブリッド車両によく見られるオレンジの配線。基本的には取りはずしたクルマの物を再使用するので金属部分は磨きで復活する

## 直撃! リビルトパーツを取り巻く環境

予算と用途にあった選択で  
楽しいカーライフを楽しもう

先ほどまで紹介してきたリビルトパーツは愛車を維持するために切つては切れない存在だ。これらのパーツを買うときに使えるツールのひとつがインターネットだろう。「クルマを直したいけどパーツの手配をどうしよう」となった場合に使用されるツールを編集部独自にまとめてみた。「リビルトパーツ」がいいのか? 「中古がいいのか?」「いつまで乗るのか?」「安いほうがいい」などさまざまな理由によって入手するパーツのルートが変わってくる。

とくに希少車のパーツはリビルト品ですら対応が難しいことも……。そんなときは積極的にSNSを使用すると同じ車種を乗る人からパーツが手に入るなんてことも! なんでも新品とあえて言わずに「エコ」な活動をしてみてはいかがだろうか? ここでは、リビルトパーツ

### クルマパーツ入手先早見表

| 入手経路            | メリット   | デメリット  | 価格相場 (4月16日時点)<br>※ドライブシャフトの場合         |
|-----------------|--|--|--|
| リビルトパーツ         | ・保証がある<br>・在庫があるのですぐに届く<br>・価格がリーズナブル<br>・分解清掃しており安心<br>・一般の人でも買える                 | ・コアの返却という手間がかかる<br>・製造会社によって品質にバラつきがある<br>・すぐに壊れてしまうことも<br>・希少なパーツの在庫がない             | 11000円(税込)~17600円(税込)/本<br>・国内製造品 保証付き |
| ネットオークションフリマアプリ | ・いつでも探せる<br>・安い店を探せる<br>・希少な部品も多い<br>・すぐに注文できる<br>・値下げ交渉ができる場合も                    | ・到着までに日数を要する場合がある<br>・中古も多い<br>・大型の物は送料が高い場合がある<br>・安い代わりに保証がない物も<br>・中古は保証がないケースが多い | 10000円~39000円(税込)/本<br>・解体車から取り外し。保証なし |
| 中古パーツ店          | ・日本全国に展開されている<br>・中古でも探物が見れる<br>・試着ができる場合もある<br>・価格が安く清潔な物もある<br>・下取りがあると出しても安く買える | ・一点物が多く、見逃すと売り切れる<br>・保証がない物もある<br>・自分で直接見に行かないといけいない場合も<br>・パーツと車種が違う場合がある          | 23000円(税込)/本<br>・中古パーツのため保証なし          |

※トヨタ・アクアの場合。純正新品は45193円(税込)

### 整備工場に聞いた! リビルトパーツの評判

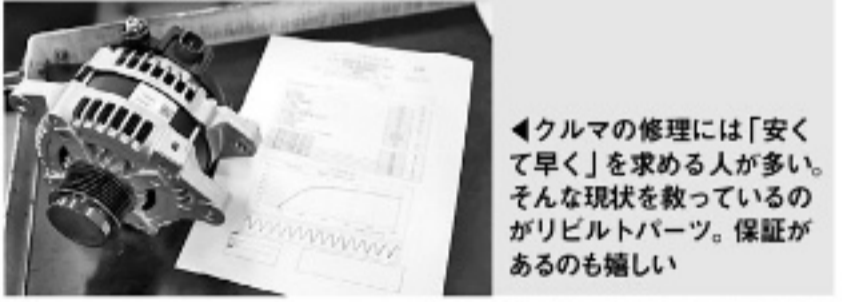
Q1: リビルトパーツの使用率はどの程度ですか?  
A: 当店ではほとんどリビルト品で対応しています。お客様の評判もいいですよ。  
Q2: どういった理由で使用されますか?  
A: 価格の安さですね。また、新品が出ない場合も重宝されます。  
Q3: リビルト品を使用することで気をつけることはありますか?  
A: 競技をされる人はドライブシャフトなどの駆動品のリビルトパーツは強度の問題から避けています。また、希少車はコアの返却が先送りでないに対応できない時もあり注意ですね。一般ユーザーなら当店はほぼリビルトパーツで対応します。



▼リビルトパーツで修理対応することが多いとのこと。最近ではインターネットで買って取り付けを依頼されるケースも

### 店長に聞いた リビルトパーツ販売店の現実

Q1: どのようなお客様が購入しますか?  
A: クルマが大好きかつ、自力で直せる方ですね。あとは業者の方が駆け込みで来ることもあります。年齢層も20代~70代まで幅広いです。  
Q2: どの年代のクルマの需要が高いですか?  
A: 1990年代~2000年初頭のクルマが多い印象です。もっと古いクルマは、ひと通り修理が完了しているケースが多いので需要が少なめなのかもしれません。  
Q3: お店で買うメリットはありますか?  
A: やはり「スピード」ではないでしょうか。工場経由だと早くても翌日ですし輸入車は海外から来るケースもあるので。



▲大型車は普通車にはない事情が多いとのことで管理する団体がある。安心安全な部品を管理する団体があるのは嬉しい。協会に所属する企業は全国にある。

### 大型車両にもリビルトパーツってあるの?

バスなどのリビルトパーツを扱う団体、JTP協会では「リビルトパーツ」と呼ばずに「リファインパーツ」という呼び名で扱われている。基本的にはリビルトパーツと同じだが、教会内で独自の基準や保証を設けた部品のことを指すようだ。大型車は1台1台仕様が違うということも多くあり、部品情報の管理を徹底するためなんだとか。ちなみに、とくに需要の高いパーツはエンジンやミッション、足まわりの駆動系だという。トラックやバスは長距離移動が多いことがその背景にある。

取材協力: 一般社団法人 日本トラックリファインパーツ協会